

法覚寺通信

第21号

2026年1月
真宗大谷派
若松山 法覚寺
第6世住職
吉武 文法(代表役員)
〒049-4752
せたな町北檜山区若松479
電話 0137-85-1455

しなやこ」と阿弥陀仏に願われているのです。
この私が救われ難き身だからJR、救おつと
ある阿弥陀仏の心をいただくところのまゝ、け
して手放しで喜べるものではなく、むしろ痛
みを感じるものですが、私が私の正体に気づ
くところは底が見える安心感があるのでし
ょ。

そんな教えを「門徒の皆様と共に聞いてい
きたいと、あらためて一年の始年に確認させ
ていただき、縁となつました。

これまで大病も経験せずに生きてきた私に
とつて、コロナの症状は大変に辛いものでし
た。お参りに伺えないのもむづかしく、御講で
鳥毛先生が「紹介」された「病気の時は
病人になります」という言葉の難しさを
実感する日々でした。

お陰様ですっかり回復し、法務も再開して
おりますが、日常の有り難さを感じる心もと
つてに消え去り、成長の無い自分に嫌気も感
じじるとなご、当然の「」と日々を過ごす私
がいます。

淨土真宗のお念仏の仏道は人間が成長する
道ではなく、救われがたい我が身の事実を

まことに来て感染したという方はいなかつたでしょ
うか?



12月の御講の様子

仏法は聴聞に極まります。みんなで聞いて聞いて聞きぬき
ましょう。あなた(私)の問題が必ず語られています。

若松山法覚寺 役員構成について

代表役員 責任役員 責任総代
(住職) (坊守) (組門徒会員)
吉武 吉文 藤文
幸子 茂則

令和七年度　法覺寺役員会 開催報告

一月八日第一回総代会開催
一月十九日第一回役員会開催

報告事項1 令和六年度事業報告

3 令和六年度報恩講決算

協議事項1 令和七年度事業計画・予算

恩講

②エアコン設置

2 葬儀会場使用料変更に伴う各取り分の変更について
→使用状況の様子見のため保留とした。

3 開教100年記念旅行の助成に

ついで

→50万円の助成を決定
4 令和7年度新年会について

七月八日 第一回総代会開催
七月二十七日 第二回役員会開催
報告事項 1 世話方役員の交代に

富里班..佐藤義広→高井直麻美

2 事業進捗状況について

3 令和7年度会計現況報告

協議事項 1 競合體の整理について

汲み取りが高額となつたため、今後
の管理について協議した。点検
は現状の業者とし、5年後にまた
汲み取りを行い判断することとし
た。

2 広川の体調不調の原因について

→承諾を得られず保留とした。

3 本山経常費・報恩講経費収納方法について

① 本山経常費四千円

○2 江東三話持費九千日

○ 但得満但金三日

4 次年度以降の経常費等収納方法上 ④遠方門徒は報恩講費分減額

ついで

→永代経のお仏供米をとりやめ、
永代経志2千円を集めること

5 お盆法要日程など、その他

十月 六日 第三回総代会開催

十月 十九日 第二回役員会開催

報告事項 1 令和七年度会計現況報告

2 後期経常費等収納方法について

3 来年からの世話方役員ならびに班交代について

4 事業進捗状況について

5 檀家外墓地・納骨堂の使用者について

について

→全ての方と確認の連絡が取れたことを報告

協議事項 1 報恩講厳修方法について

2 葬儀会場使用料の変更について
→エアコン設置に伴い冷暖房使用時に1万円追加とした。

3 法覚寺開教100年記念旅行について

4 令和8年門徒会新年会について

令和七年度に開催された当寺役員会では、

以上の内容について協議がなされました。今後もこのよだな形で十分協議を重ね事業を推進して参りますので何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

令和七年度 感謝状授与者

法覚寺役員勤続功労者

勤続 四十年	加藤 幸男
勤続 二十五年	細川 淳一
勤続 十年	口置 達雄

法覚寺役員退職感謝状授与者

三津橋 国夫 殿
廣川 弘 殿

聞法の道場であるお寺を長年にわたりお支えいただき、誠にありがとうございます。

これからも、お寺と御門徒の橋渡しをよろしくお願い申し上げます。

えいたいしどうきんきしん おれい

永代祠堂金寄進の御礼

令和七年度寄進者

一月 金	十万円	發出 民子 殿
二月 金	十万円	武藤 正憲 殿
八月 金	十万円	菊地 栗原 一男 殿
十月 金	三十万円	水谷 亨 殿
十一月 金	三十万円	浅沼 珠恵 殿

※希望により掲載していない方もおられます。

永代祠堂金は亡き方を「縁」として「寄進いたぐもので、お一人につき十万円以上にて申し受けております。

「寄進いたぐと、永代経法名帳に記載し、春の永代経法要にてお一人おひとり法名を読み上げお勤めします。

令和八年の年忌法要について

れいわはちなん ねんきほうよう

年回早見表	
1周忌	令和7年
3回忌	令和6年
7回忌	令和2年
13回忌	平成26年
17回忌	平成22年
23回忌	平成16年
27回忌	平成12年
33回忌	平成6年
37回忌	平成2年
43回忌	昭和59年
47回忌	昭和55年
50回忌	昭和52年

法覚寺本堂には本年の年忌法要一覧表を掲示しています。亡き人との縁を大切にし、「法事をお勤めして仏法の教えに触れる機会を設けましょう。



お悔やみ

※年齢は行年です。

一月十九日 札幌 宮本 正廣 殿 八十九歳
 二月二十日 小川 森 満 殿 九十二歳
 二月十五日 若松 二ノ田 マサ 殿 九十七歳
 二月十六日 富里 淩野 ヨシ卫 殿 百一歳
 二月十七日 雲内 日置 光子 殿 九十六歳
 二月二十五日 二俣 近藤 忠 殿 七十八歳
 四月十八日 若松 壽武 聖子 殿 百三歳
 五月十三日 北桧山 秋田 力ネ 殿 九十五歳
 六月十六日 北桧山 小池 チエ子 殿 九十四歳
 八月十二日 札幌 粟原 清春 殿 七十七歳
 九月二十六日 下若松 高橋 和春 殿 七十一歳
 十月三十一日 北桧山 鈴木 初美 殿 七十六歳
 十一月十三日 濁川 小池 長光 殿 九十五歳
 十一月十九日 若松 金澤 糸 殿 九十九歳
 十月十日 札幌 潤澤 俊一 殿 九十歳
 十月十八日 北桧山 細川 ふじ江 殿 九十九歳

あらためまじび「命終」謹んで哀悼の誠を捧げます。

南無阿弥陀仏 合掌

住職も四十歳となりました

今年で私もとうとう40歳。帰ってきた頃は「ねがわ」と呼ばれ、可愛がっていただいたピチピチの私もいつの間にやら立派なおっさんになってしましました。時の流れは恐ろしいものです。数年前の写真を見ると自分が確実に老けていった事実を告げられていふよつて驚くばかり。

むかし孔子の『論語』では「四十にして惑わず(不惑)」と云われ、経験を積み、物事の本質を見抜く力がつき、自分の生き方や判断に迷いがなくなつた状態が「不惑」とされていふそです。

法覺寺でいつも聞法されてゐる方なりばおき気づきかもしませんが、浄土真宗では私がそう云つて不惑(迷いのない状態)になると考へません。死ぬ瞬間までああでもない、こ

うでもないと迷い続ける私であると、親鸞さんは教えてくれます。

聖人は教えてくれます。

あなたはいつから
あなたですか

今度のねば

真城義磨

東本願寺出版『お誕生おめでとう生まれてくれてありがとう』より